

富士薬品主催

痛風・高尿酸血症Webセミナー

高尿酸血症と循環器病

～実地医家に知っていただきたい最近の話題～

日時

2024年5月31日(金) 12:20～13:00

演者

桑原政成先生

自治医科大学 准教授

地域医療学センター 公衆衛生学 兼 循環器内科学

略歴

2007年 3月 鳥取大学医学部医学科 卒業
2007年 4月 聖路加国際病院 初期臨床研修内科系プログラム
2009年 4月 聖路加国際病院 専門研修医(内科・循環器内科)
2013年 4月 虎の門病院 循環器センター内科 医員
2014年 9月 鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻 遺伝子再生医療学講座
再生医療学部門博士後期課程 修了 博士(再生医科学) 取得
2016年 4月 University of Colorado Denver, School of Medicine, Postdoctoral Fellow (留学)
2017年 12月 自治医科大学 地域医療学センター公衆衛生学部門 博士(医学) 取得
2018年 8月 虎の門病院 集中治療科 医長 循環器センター内科・高齢者総合診療部 兼任
2020年 4月 厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 課長補佐 兼 循環器病対策専門官 (出向)
2022年 4月 虎の門病院 循環器センター内科 医長
2024年 4月 自治医科大学 准教授 地域医療学センター 公衆衛生学 兼 循環器内科学

抄録

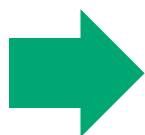
高尿酸血症と高血圧の関連性が指摘され、アロプリノールが血圧低下に効果的であることが示唆されている。尿酸と腎臓病の関連については、尿酸降下薬の腎保護効果についてのエビデンスは不十分だが、一部の研究では腎機能の改善が認められたという報告もある。一方で心血管疾患においては、尿酸との関連性が示唆されつつも、尿酸降下薬における心血管疾患予防効果は不明確である。特に心不全においては、尿酸が悪影響を及ぼすことが示唆されており、尿酸降下薬の有効性が示唆された研究も存在するが、明確な結論は得られていない。高尿酸血症の治療が痛風予防の観点から適切であると考えられる一方で、各疾患への予防効果については、より質の高い臨床試験が必要となる。今回は高尿酸血症と痛風に関する最近の話題について、紹介したい。

インターネット回線(ZOOM ウェビナー) を用いたご視聴のご案内

下記①または②の方法でアクセスできます。

【方法①】スマートフォンの場合

●下記 QR コードを読み取り頂く



5月31日(金) 12:20~13:00 痛風・高尿酸血症Webセミナー

日時 2024年5月31日 12:00 PM、大阪、札幌、東京

ウェビナー登録

名* 姓*

メールアドレス*

登録時に提供する情報は、アカウントオーナーおよびホストと共有されます。アカウントオーナーとホストは、その情報を規約とプライバシーポリシーに従って使用・共有できます。

☆123 あ か さ <input type="button" value="X"/>
ABC た な は 空白
あいう ま や ら 検索
地球 わ わ 、。!?

下記を入力し講演にご参加ください。

- ・ご芳名
- ・メールアドレス
- ・ご施設名
- ・都道府県(プルダウンよりご選択)

【方法②】PCの場合

●下記 URL よりアクセスいただき、上記の必要事項を入力し、ご参加ください

<https://x.gd/x0Tco>

ウェビナー ID: 829 7281 9152